

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 8 月 16 日(2023.8.16)

【公開番号】特開 2022-30618(P2022-30618A)
【公開日】令和 4 年 2 月 18 日(2022.2.18)
【年通号数】公開公報(特許)2022-030
【出願番号】特願 2020-134743(P2020-134743)
【国際特許分類】

H 0 1 L 21/304(2006.01)

10

A 4 7 L 13/16(2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/304 6 4 4 G

H 0 1 L 21/304 6 4 4 C

A 4 7 L 13/16 B

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 7 日(2023.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

連続気孔を有し、湿潤状態で弾性を有する多孔質材によって構成された円筒状のスポンジ体と、

前記スポンジ体の内径部を挿通し、前記スポンジ体の内周面を固定的に支持する軸体状のコアと、を備え、

前記コアを、連続気孔を有する多孔質の焼結体によって構成した

30

ことを特徴とする洗浄用スポンジローラ。

【請求項 2】

前記コアを、有機焼結体によって構成した

ことを特徴とする請求項 1 に記載の洗浄用スポンジローラ。

【請求項 3】

前記焼結体が筒形状である

ことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の洗浄用スポンジローラ。

【請求項 4】

前記焼結体の平均気孔径が $5\ \mu\text{m} \sim 800\ \mu\text{m}$ であり、気孔率が $30\% \sim 50\%$ である

ことを特徴とする請求項 1 ～請求項 3 の何れか 1 項に記載の洗浄用スポンジローラ。

40

【請求項 5】

前記スポンジ体は、前記焼結体の連続気孔へ入り込んで前記焼結体と一体化することにより前記コアに固定される

ことを特徴とする請求項 1 ～請求項 4 の何れか 1 項に記載の洗浄用スポンジローラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

50

(実施例)

ポリビニルアルコールを水溶液とし、この水溶液に架橋剤としてアルデヒド類、触媒として酸、及び気孔形成剤として澱粉等を加えた混合液とし、図4及び図5に示すようにコア2を付加した型11に混合液を注入し40～80℃で反応させてスポンジ体3を生成し、スポンジ体3及びコア2を型から取り出した後、水洗により気孔形成剤などを除去し、コア2の内径部の余剰のスポンジ体を切除して、スポンジローラ1を作製した。

10

20

30

40

50